

## 【近赤外線でもほうれい線やしわに！紫外線とともブロックを！】

近赤外線って聞いたことがありますか？

NHKの情報番組で取り上げられたりなどで、なかにはご存知の方もいると思いますが、聞いたことのない方も多いのではないのでしょうか？

近赤外線とは、紫外線と同じ**太陽光線**です。最近、近赤外線の研究がすすみ、顔のたるみやほうれい線、しわなどの**肌老化**をもたらす原因になることがわかってきました。

近赤外線は、がんの光免疫療法に使用されるなど医学的なメリットもありますが、**真皮**や**皮下組織**まで浸透して炎症を促す物質である「MMP1」や「炎症性サイトカイン」と呼ばれる物質を増やすはたらきがあります。これらは、お肌のハリを支える**コラーゲン**を破壊するのです。だから、8月のような太陽光線が強い季節に、強い近赤外線を浴びたり、弱くても長時間浴びると**肌老化**が進んでしまうのです。また、目に近赤外線を受け続けると、**角膜炎**や**白内障**のリスクがあります。だから、この季節は、紫外線対策と同様に、次のことを実践しましょう！

- ①午前10時頃～午後2時頃は外出を避ける
- ②できるだけ日陰に入る
- ③袖や襟がある衣類を着る
- ④日傘や帽子を活用する
- ⑤手袋やスカーフなどで露出しているお肌を覆う

もう1つ大切なことは、近赤外線をカットできる**サングラス**や**アイケアメガネ**をつけること。最近では、紫外線に加えて、**近赤外線**や**ブルーライト**などの有害光線をカットするサングラスやアイケアメガネが登場しています。令和時代のお肌や目の老化予防は、**近赤外線対策**も考えましょう！

近赤外線から目や肌を守る！「アイケアメガネ」ナールスより好評発売中！

レンズの内側に入り込む有害光線を吸収して、目に対する照り返しをカットする特許出願中の「プレミアムグリーンレンズ」を使用！

ぜひ、チェックしてくださいね！詳しくは右側のQRコードから！



<https://www.nahls.co.jp/glass/>

## 今月のご愛用者さまの声

nahls

いつもナールスブランドの商品をお使い頂きまして、誠にありがとうございます。  
現在ナールスブランドの商品に関するご意見やご感想を大募集しています。使用後のお肌の変化や、同じ悩みをお持ちの方へのメッセージなど、ご自由に記入くださいませ。

このお八がきは、社長をはじめナールスのスタッフが共有し  
製品づくりや情報提供に活かしています。

ご使用商品  
ピュア・ネオ・ユニバ エークレンズ・ウェール・パッション・ロゼ

はじめまして。  
私がナールスを知って1年です。  
ピュアには、毛穴の引き締め効果とたるみの解消が、  
たるみの解消が、  
ネオ、ユニバには目尻の小じわがパーンとほろほろと消え、  
パーンとほろほろと消え、  
これからも使い続けていきたいと思っております。

インシヤル (M.K.) 年齢 (42歳) 男

ご使用商品：ナールスピュア・ネオ・ユニバ

はじめまして

私がナールスを知って早1年です。

ピュアには、毛穴の引き締め効果とたるみの解消が。

ネオ、ユニバには

目尻の小じわがパーンとはる感じがあります。

これからも使い続けていきたいと思っております。

42歳/M.K.様 より

※個人の感想であり、使用感、効果等には個人差があります。

# ナールスビューティーナビ

「メイク崩れなし！長時間キープする大人の夏メイク」

汗や皮脂の分泌が多くなる夏。メイクが崩れやすい季節です。キレイにメイクをしても、少し時間が経つとファンデーションがヨレてしまったり、マスカラやアイライナーが落ちてしまったり。長時間メイクしたての状態をキープするコツは、スキンケアとベースメイクにあります。

## 朝は保湿&引き締めケア

汗や皮脂の分泌が多くなるからといって、朝のスキンケアを疎かにするのはNG。肌は乾燥すると自らを潤そうと、過剰に皮脂を分泌することがあります。朝のメイク前にも、化粧水や美容液、クリームなどでしっかり保湿しましょう。保湿をしつつも、汗や皮脂を抑えるには収れん化粧水を使ったり、冷蔵庫で冷たく冷やしたシートマスクで肌を鎮静させるのもおすすめです。冷やすことで肌がキュッと引き締まり、毛穴が目立たなくなります。



## スキンケアしてすぐにメイクをしないこと

メイクが崩れる原因の一つは、スキンケアしたてですぐにファンデーションを塗ってしまうこと。肌の表面で、なじみきっていないスキンケアアイテムとファンデーションが混ざり合い、ヨレやすくなります。スキンケアが完了したら少し時間を置き、肌を触ってべたつく場合はティッシュオフしてからメイクをスタートしましょう。



## 崩れにくいメイクのコツ

ベースメイクでは、皮脂分泌が多い小鼻周りにマットタイプの化粧下地を仕込むと、崩れにくくなります。化粧下地、クリームタイプのファンデーションを付けた後は、スポンジでポンポンと軽く叩きます。こうすることで、余分な油分がスポンジに吸収され、肌にファンデーションがフィットします。



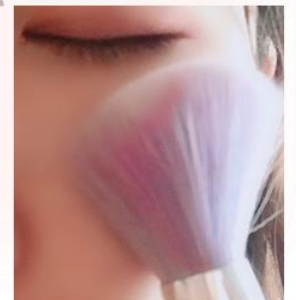
顔全体には化粧下地を付けても、他の部分には下地を使わないという方も、ぜひ夏は下地使いを。アイシャドウベース、マスカラベース、リップベースなど、ポイントメイクにも下地があります。下地を使うことで発色が良くなり、崩れ防止にもなります。

仕上げのフェイスパウダーは、パフでしっかりと抑えるようにつけましょう。マスカラやアイライナーが崩れてパンダ目にならないように、目の周りにはフェイスパウダーを多めにつけておくとよいでしょう。汗に強いウォータープルーフのマスカラやアイライナーを使えば安心です。

皮脂も抑えてくれるので一石二鳥♪



リキッドアイライナーの方が崩れにくいですが、ペンシルアイライナーの場合はアイライナーブラシで線をぼかしてなじませておくと崩れにくくなります。



暑い夏もメイクを崩さずに、涼しい顔でいたいものですね。メイク崩れは少しの工夫で防止できます。ぜひ試してみてくださいね。